2026年11月27日

各 位

会社名　　株式会社　イメージワン
代表者名　代表取締役社長　　川倉　歩
（コード番号 2667　東証スタンダード）
問合せ先　取締役管理副本部長　横山　恵一
（TEL 03 - 5719 - 2180）

取締役会の実効性評価結果の概要に関するお知らせ

当社は、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能の向上を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しました。その結果の概要につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．評価の方法

当社は、全ての取締役（監査等委員会である取締役を含む）９名を対象として、2026年11月に取締役会の実効性評価アンケートを実施いたしました。取締役会の実効性評価に係る評価項目は、監査等委員及び外部の専門家からの助言を踏まえて決定し、内部監査室が評価結果のとりまとめを行いました。その回答の集計結果をもとに、取締役会において課題や今後の取り組みについて協議いたしました。

取締役会の実効性評価における評価項目は以下のとおりです。

（１）　取締役会の構成と役割分担
（２）　取締役会での全社的なリスク管理
（３）　取締役会の責務
（４）　取締役会の運営状況
（５）　再発防止策への取り組み
（６）　株主・投資家との対話
（７）　フリーコメント

２．取締役会の実効性に関する分析及び評価結果の概要

上記の評価項目による取締役会の分析及び討議・検証の結果、当社取締役会は、当社における取締役会の実効性は更なる実効性向上が望まれると評価いたしました。

評価項目別の結果を見ると、「（５）再発防止への取り組み」が最も評価が高い結果となりました。また、個別の評価結果を見ると、「（４）取締役会の運営状況　⑥取締役会議事録の共有」が高い評価結果となりました。

一方、改善の余地があり、今後更なる取り組みが望まれる項目としては、「（１）取締役会の構成と役割分担」、「（６）株主・投資家との対話」が平均評点以下で、更なる実効性向上が望まれる評価結果となりました。個別の評価結果を見ると、「（１）取締役会の構成と役割分担　④取締役会メンバーの多様性、⑤取締役会メンバーのバランス」、「（４）取締役会の運営状況　⑤決議事項のその後の報告」が平均評点以下で、全項目のうち最も低い評価となりました。

３．今後の対応

取締役会の実効性を更に高める観点から、「取締役会の構成の強化」を重点課題として取り組んでまいります。取締役会の実効性評価アンケートのフリーコメントで挙げられた「中長期的な経営戦略への議論シフト」や、「取締役会資料の品質向上」に関する意見について、これらの改善点

を検討する必要があると考えております。また、他社の取締役会評価事例に見られるように、継続的な改善プロセスを導入し、取締役会の実効性を定期的に見直しながら、当社の経営ガバナンス体制の強化に努めてまいります。

以上